

2025 年度 大学院Ⅱ期(薬学研究科博士課程) 専門科目 出題意図

[問題 1]

生体におけるヌクレオチドの代謝に関する基本的知識を問う。またこれに基づき、葉酸代謝の過程をターゲットとする抗菌薬の作用メカニズムを論理的に説明する能力を問う。

※出典情報：引用なし

[問題 2]

タンパク質の構造に関する知識は薬物の作用機序を理解する上で重要であるだけでなく、タンパク質の機能を理解する上でも重要であるため。

[問題 3]

問 1 症例の臨床経過（長引く咳・血痰・空洞陰影・抗酸菌陽性）から、結核の診断に至る基本的臨床推論ができるかを評価する問題。

→評価ポイント（臨床所見と検査結果から結核を判断できるか）

呼吸器感染症の鑑別

抗酸菌検査の意味の理解

結核菌核酸増幅検査の意義の理解

問2 結核治療薬の中で、薬物相互作用の原因となる薬剤を理解しているかを評価する問題。

→評価ポイント（薬物相互作用の代表例を理解しているか）

リファンピシンの酵素誘導作用

CYP3A4 誘導

P-糖タンパク誘導

問3 結核治療薬の特徴的副作用とモニタリングを理解しているかを評価する問題。

→評価ポイント（副作用に基づく検査モニタリングを理解しているか）

エタンブトールによる視神経炎、視力・色覚障害

問4 結核診断における免疫学的検査（IGRA）の原理と臨床的意義を理解しているかを評価する問題。

→評価ポイント（検査のメカニズムと臨床的位置づけを説明できるか）

IGRA の原理（T 細胞反応）

BCG の影響を受けにくい検査であること

潜在性結核の診断補助

問5 結核治療における多剤併用療法の理由、DOTS（Directly Observed Treatment Short-course）

を理解しているかを評価する問題。

→評価ポイント（感染症治療と公衆衛生の両面の理解を確認）

1. 多剤併用の目的

耐性菌出現防止と殺菌力強化

## 2. DOTS

服薬確認、治療中断防止、公衆衛生対策

### [問題 4]

問1 患者の LDL 著明高値、黄色腫、アキレス腱肥厚、家族歴

から、家族性高コレステロール血症 (FH) を診断できるかを評価する問題。

→評価ポイント

脂質異常症の病態理解、FH の診断基準の理解、臨床所見の統合的判断

問2 スタチンの作用機序、コレステロール合成経路を理解しているかを評価する問

題。

→評価ポイント (薬理作用を生化学レベルで理解しているか)

HMG-CoA 還元酵素

問3 エゼチミブの作用機序（スタチンとの違い）を理解しているかを評価する問題。

→評価ポイント（脂質異常症治療薬の使い分けを理解しているかを確認）

NPC1L1 阻害

小腸コレステロール吸収阻害

スタチンとの併用意義

[問題 5]

社会で流通している医薬品の販売区分ごとの違いを理解しているかを問う出題である。

[問題 6]

医薬品医療機器等法に規定されている医薬品の再審査制度及び再評価制度に関する基本的知識を確認する。

[問題 7]

問1 医薬品化学に関する事項について、一般的な知識を問う。

問2 医薬品の化学的性質について総合的な知識を問う。

[問題8]

問1 有機化合物の官能基の反応性について、総合的な知識、理解力を問う。

問2 有機化合物の官能基の反応性について、総合的な知識、理解力を問う。